

※対面＋オンライン形式により開催します。

- ・2023 年 5 月の第 185 回より、対面のみの形式によって弊会の運営が進んでいますが、今回は対面＋オンライン形式により開催します。
- ・定員は対面 80 名＋オンライン 60 名とし、先着順のもと個人会員と特別会員を優先して受け付けます。
 - 1 社あたりの申込人数に制限はありませんが、申込者多数の場合は人数を調整させていただく場合があります。個人会員と特別会員によって定員に達した場合、非会員からのお申込みをお断りすることがあります。
- ・土木学会の CPD プログラムに認定されています。ご必要の方には、会終了までの完全なご参加の後、所定の作業の終了後に土木学会継続教育(CPD)に関する参加証明書を交付します。
なお、他団体へ申請される方には他団体のルールに従っていただきます。
- ・不測の事態に応じて中止になることがありますので、ご了承ください。

※会場がいつもと異なりますのでご注意ください。

令和 6 年 3 月 27 日

各 位

軟弱地盤研究会（第 193 回）のご案内

軟弱地盤研究会
会長 日野剛徳

日 時：令和 6 年 4 月 26 日（金） 14 時～16 時（1 時間講演、1 時間質疑応答、休憩なし）

場 所：【対面】佐賀県建設技術支援機構 3F 研修室
（〒849-0936 佐賀市鍋島町大字森田 912 番地 TEL 0952-97-5595）
<https://goo.gl/maps/KP7Cx7ni8ZqhPE5B6>
駐車場は外部駐車場をご利用ください（添付資料を参照）。
【オンライン】Microsoft Teams

話 題：盛土委員会の活動で学んだこと

講演者：盛土委員会 委員長／佐賀大学名誉教授 三浦 哲彦 氏

概 要：講師から下記の概要をいただきました。

盛土委員会では 20 数名の技術者と一緒に次のようなことを学んだ。非海成の蓮池層上・下層に高有機質土が堆積しているのはなぜか。新たに見つかった伏在活断層をどう理解し、対処すればよいか。

芦刈南 IC の被災には、高有機質土という素因があった。有機質土はゴミクイやクリークなど人間活動由来の原因も関与。道路沈下は交通荷重が大きく関与、同評価法を提案・実証。重交通による沈下抑制にコラム・スラブが効果的、同工法で沈下・振動・騒音は制御可。

固化材と粘性土の相性、コラム連続性の確認に針貫入試験が有効、促進養生法は改良効果 1 日判定に使える。高盛土基礎をフロート式から着底式に変更した理由。トータルコストミニマム手法を提示した。

※参加希望の方は「対面」と「オンライン」のどちらを希望されるか明記の上、**4/19（金）・12:00**までに必ずメールでご連絡ください。

なお、オンラインでの受講の場合、お一人につき 1 つメールアドレスが必要になります。1 つのメールアドレスで複数人のお申込はできませんので、ご了承ください。

※参加費：当研究会の個人会員及び特別会員は参加費無料。

それ以外の方は参加費（1,000 円）が必要です。対面での受講をされる方は当日の受付でお支払いください。オンラインでの受講の方は後日請求書をお送りしますので指定の口座

にお振込みください。

※参加証明書について（オンラインでの受講の方）

土木学会の CPD プログラムに認定されています。

ご必要の方には研究会の終了後に Microsoft Forms を用いて下記の各項目に関するご回答をいただきます。内容確認でき次第、参加証明書をお送りします。

なお、コピー&ペースト類似度チェックツールを用いてご回答の内容を照合し、コピー&ペーストと判断されたご回答については参加証明書を発行いたしかねますので、くれぐれもご注意の上、ご自身のご理解によりご入力ください。

- a) ご氏名
- b) おふりがな
- c) ご所属先
- d) ご役職
- e) ご所属先郵便番号（兼・参加証明書郵送先）
- f) ご所属先住所（兼・参加証明書郵送先）
- g) ご所属先 TEL
- h) ご所属先 FAX
- i) 講演内容のポイント（最低 100 文字）
- j) 講演内容に関する質問・感想（最低 100 文字）
- k) その他

=====

軟弱地盤研究会事務局
担当：喜連川 聡容（Kirekawa Toshihiro）
E-mail: asgt@sagacat.or.jp
URL: <https://www.sagacat.or.jp/asgt/index.html>
〒849-0936 佐賀市鍋島町大字森田 912 番地 （公財）佐賀県建設技術支援機構内
TEL(0952)97-5596 FAX(0952)97-5603

=====